

前を向いて





**「うわあー、なんてきれいななのー」
ある秋の日、
病院から自宅に帰るくるまの中で、
ひーちゃんが外の景色を見て突然、
声を上げました。
通院のとき以外は
寝たまりに近い生活だったひーちゃん。
看護師だったお母さんは、
ふる里の紅葉に娘が感動する姿を見て
喜びがこみ上げてきました。**

子どものころから学業も運動も得意で
活発な少女だったひーちゃん。

京都の大学の2年生だった時に突然、病気になりました。

誰も何も言っていないのに、
悪口や命令などが聞こえてしまう「幻聴」や、
現実では起こるはずはないことを
事実と感じてしまう「妄想」など、
テレビを見ているとお笑い芸人が
自分の悪口を言っています。

寝ていると天井から話し込む男女3人の声が聞こえます。

不安で眠れず、時々大きな声を出して
独り言をしゃべり続けることも。
住んでいる部屋はゴミだらけに。

きちょうめんなひーちゃんからは考えられないことです。

統合失調症という病気でした。





**「私が以前の状態を取り戻せるのはいつだろう。
健康な状態がどれほどすばらしいものが」。**

思いがあふれました。

ひーちゃんは2年間、

京都で治療を続けましたが、

結局、大学を休学してふる里に帰ることに。

夢だった社会福祉士になる勉強は

中断したままです。

**ふる里に帰って来たひーちゃんに対して、
地域からの風当たりはきついものでした。**

病気への偏見です。

**精神障がい者が事件を起こすたびに
言葉による差別を受けました。**

「看護師なのによう治さんだか」。

お母さんにも容赦ない言葉が浴びせられました。

**看護師の仕事や家の農作業、
親の介護もあったお母さんは**

**「いっそ、この子とがけに落ちたら苦しみから解放される」
と思ったことがあります。**

でもお母さんは

**「子どもには子どもの人生がある。負けてはいけない」
と思いとどまりました。**





ふる里での療養生活を始めて
4年ほど過ぎたころ、ひーちゃんは少しずつ
外に出られるようになりました。
週1回ホームヘルパーが来るようになり、
家族以外の人とのふれあいが
増えたことがきっかけです。
家族がひーちゃんに深い愛情を持って、
優しく、時には厳しく関わってくれた
おかげでもあります。
お母さんは毎日のようにひーちゃんと
ゲームや散歩をしました。

**ひーちゃんはお医者さんやお母さんと話し合い、
病気について学び、
自分のできることから始めました。
まず、症状に合わせて薬を飲んでいきます。
薬の副作用についてしっかりと知っておくことで、
不安を和らげることができました。
薬はお母さんが管理していましたが、
そのうち自分で飲めるようになりました。**



いま、ひーちゃんが仕事をしている作業所は、
お母さんや県や町と一緒に立ち上げた場所。

「自分たちにできることはないか」と、

精神保健ボランティアや
民生児童委員の人たちからの申し出があり、
協力の輪が広がっていきました。

ひーちゃんは

作業所でリーダー的な存在となり、
得意な作業ではほかの人たちを助けることもあります。

仲間と結成した音楽グループは、
イベントや各施設に招かれるようになりました。

ステージでは

見事なオカリナの演奏を披露し、
聴衆から大きな拍手を浴びています。



「無理かもしれないけど、車の免許がほしい」。
これがひーちゃんの夢。
障がいがあるからと、
家から外に出たがらなかったひーちゃん。
いまは前を向いて歩き出しています。





「精神障がい」について

統合失調症や気分障がい(そううつ病)などの精神疾患では、幻覚や妄想、不安やイライラ感、ゆううつ感、不眠などが認められます。周囲から「怠けている」「意志が弱い」などと誤解を受けやすく、これらの症状は、薬の服用や環境が安定することで軽快します。

★こんな配慮がうれしい！

- ◇無理な励ましは過剰なストレスとなることもあるので
本人のペースに合わせたはたらきかけが必要
- ◇再発につながる注意サインを知っておき再発を予防する
- ◇本人の気持ちを大切にす

あしがき

「いまの職員さんたちは障がい者のために本当によくやってくれている」一。こう語るお母さんの言葉からは逆に、障がいについて理解者が多くなかった時から娘を支えてきた苦労が伝わった。「誰でも障がい者になる可能性がある」一。当たり前のことだが、実際にその場を経験しないと理解できない。それだけに幼いころから

活発で、将来を嘱望された若者が突然、障がい者になった時、周りはどう接したらいいのか、戸惑うばかりだっただろう。いま、進められている障がい者施策は、苦しみながら障がい者を支えてきた家族らの愛情から成り立っている。(あ)